

令和元年度 第1回熊本県地域医療対策協議会	資料 4
令和元年7月2日	

熊本県医師修学資金制度について

熊本県健康福祉部

熊本県医師修学資金制度の概要

	地域枠	一般枠	県外枠
応募資格	熊本大学医学部医学科推薦入試(地域枠)入学者 熊本県内の高等学校からの推薦者が対象	熊本大学医学部 医学科在籍者 熊本県内出身者が対象	熊本大学以外の 医学部医学科在籍者
貸与額 (定額)	入学料相当額 282,000円(入学年度のみ) 授業料相当額 535,800円(年額) 生活費相当額 75,000円(月額) 6年間の貸与総額見込み:8,896,800円		
貸与期間	・1年次から貸与を受けた場合: 貸与決定を受けた月から卒業する月まで ・2年次以降から貸与を受けた場合: 貸与決定を受けた月から5年以内で契約で定めた期間		
貸与予定人数	5人以内	5人以内	1人

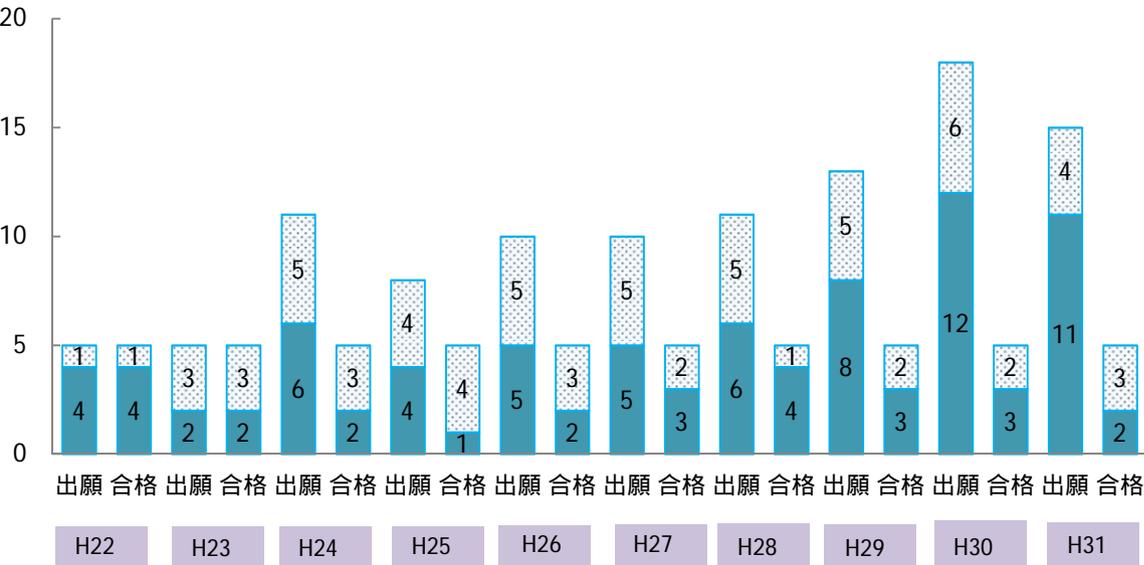
返還免除の要件等

貸与期間と地域の病院等での従事期間	・貸与期間が6年の場合 義務年限:9年間 ・貸与期間が5年以下の場合 義務年限:貸与期間 + 3年間
返還免除の要件	大学卒業後、2年以内に医師免許を取得すること。 医師免許取得後、直ちに条例で定める病院で臨床研修に従事すること。 臨床研修修了後、直ちに知事が指定する病院等に勤務すること。 返還免除に必要な指定病院等での勤務期間を満たすこと。等

熊本県医師修学資金制度の運用状況

熊本県医師修学資金(地域枠)

別枠・先行方式

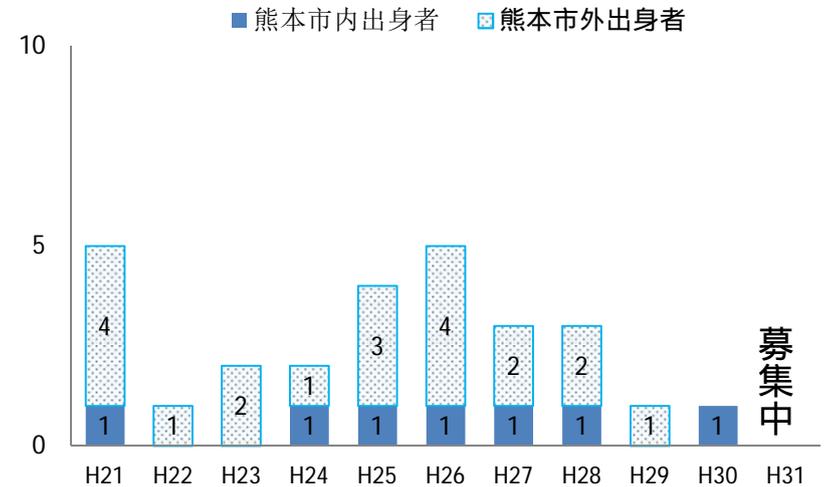


毎年度5名の定員に対し、平均出願者数は9.6名であり、毎年度5名に貸与。出願者数の充足率は212%。

県外枠はH28年度及びH30年度において各1名に貸与。

熊本県医師修学資金(一般枠)

手挙げ・事後方式

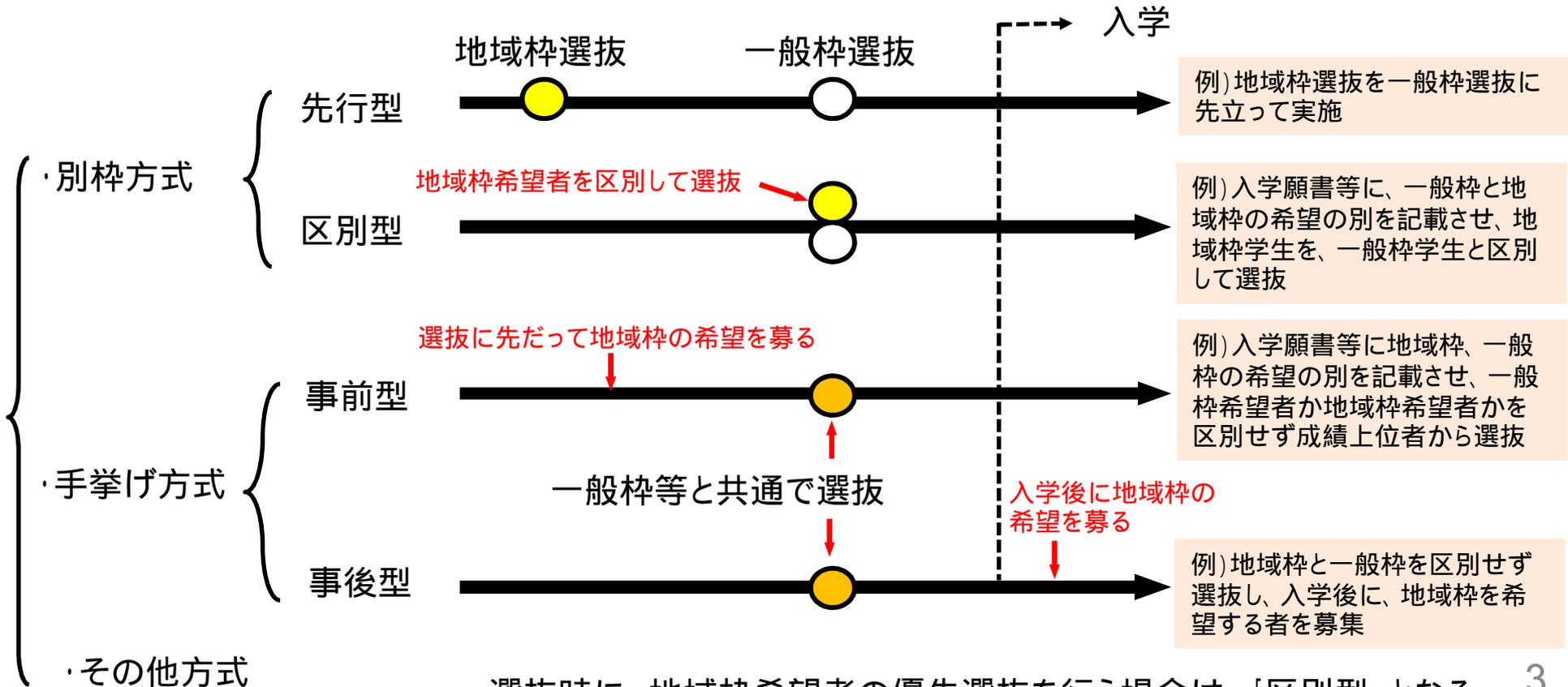


毎年度5名の定員に対し、平均申請者数(貸与実績)は2.7人。充足率は54%。

募集中

地域枠学生選抜方法の類型

- ✓ 地域枠学生の選抜方法については、一般枠と別枠の募集定員を設ける「別枠方式」と、一般枠等と共通で選抜し、事前又は事後に地域枠学生を募集する「手挙げ方式」とに大別される。
- ✓ さらに、別枠方式については、一般枠に先行して選抜する「先行型」、一般枠と同時に選抜するものの、地域枠希望者を一般枠等とは区別して選抜する「区別型」、手挙げ方式については、選抜に先だって地域枠の希望を募る「事前型」、入学後に地域枠の希望を募る「事後型」がある。



選抜時に、地域枠希望者の優先選抜を行う場合は、「区別型」となる。

国による全国調査の結果等

平成31年2月15日 厚生労働省
「第3回医療計画策定研修会」資料より一部抜粋

- 臨時定員関連の地域枠についても、別枠方式の場合、募集数の95%に奨学金貸与実績があるのに対し、手挙げ方式だと69%しか貸与実績がない。
- 離脱の状況についても、別枠方式の場合、94%が義務履行すると推定されるのに対し、手挙げ方式だと84%しか義務履行されないと推定される。

臨時定員関係	募集数	貸与実績	貸与実績%	離脱者数	人年	離脱率(人年%)	義務年限終了までの推定義務履行率%
別枠方式(先行型)	3,012	2,912	97%	56	15,048	0.37%	95%
別枠方式(区別型)	2,364	2,173	92%	44	10,487	0.42%	94%
別枠方式(合計)	5,376	5,085	95%	100	25,535	0.39%	94%
手挙げ方式(事前型)	891	667	75%	46	3,226	1.43%	81%
手挙げ方式(事後型)	2,689	1,811	67%	106	9,523	1.11%	85%
手挙げ方式(合計)	3,580	2,478	69%	152	12,749	1.19%	84%



地域の医師確保の観点からの平成32年度以降の大学医学部の入学者の選抜方法について

平成30年10月25日 厚生労働省医政局長

- 令和2年度以降の選抜に当たっては、別枠方式により学生を確実に確保することが適当である。

令和2年度（2020年度）以降の熊本県医師修学資金制度の取扱い

国からの要請を踏まえ、令和2年度（2020年度）以降の熊本県医師修学資金一般枠（手挙げ方式）は廃止する。

令和2年度（2020年度）及び令和3年度（2021年度）の熊本県医師修学資金地域枠の定員は、現行どおり5名とすることを想定し、国の臨時定員増に関する意向調査に対して5名の増員を希望する旨回答している。

今後の熊本県医師修学資金地域枠の取扱いについては、医師確保計画を策定する中で、地域医療対策協議会において協議予定。